

2025年大阪・関西万博における 復興庁の取組結果



令和 7 年 6 月 13 日
復興庁

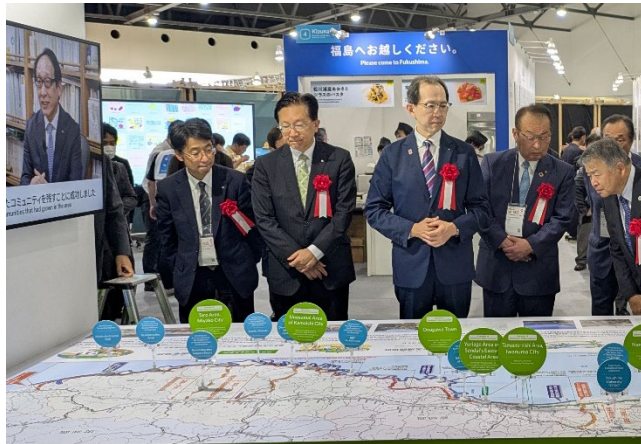
2025年大阪・関西万博における復興庁の取組結果

【開催概要】

- 「東日本大震災からのよりより復興」をコンセプトに5月19～24日に開催。
- 「震災伝承・災害対応」、「食・水産」、「最新技術」や「福島国際研究教育機構」といったテーマで映像やデータ等を用いて「復興のストーリー」を展示するとともに、三陸常磐ものの試食を提供するなど、東日本大震災から力強く復興しつつある被災地の姿や地域の魅力を世界に向けて発信。
- 展示期間中には、延べ約4万8千人が国内外から来場。
- さらに、デジタルモニュメント「成長する『奇跡の一本松』」は万博期間中を通じて設置され、被災地へのエール等世界中から寄せられたメッセージを投影中。

【オープニングセレモニー（5/19）】

- ・ 復興推進委員会及び第2期復興・創生期間までの復興施策の総括に関するワーキンググループを代表し、今村委員長・座長が出席。
- ・ 伊藤復興大臣、荒川静香復興庁2025大阪・関西万博復興PRアンバサダー、各来賓とともに、各エリアの展示を視察。三陸・常磐ものの試食の後、「成長する『奇跡の一本松』」を確認。



復興庁展示の視察



三陸・常磐ものの試食



デジタルモニュメント「成長する『奇跡の一本松』」の視察

(参考) 2025年大阪・関西万博における復興庁の取組

(第2期復興・創生期間までの復興施策の総括に関するワーキンググループ第10回会合資料6から抜粋)

大阪・関西万博における復興庁の取組

※2025年大阪・関西万博(4月13日(日)~10月13日(月)) 大阪市夢洲

○「万博の機会を活かし、復興しつつある姿を世界に発信」するため、

「よりよい復興(Build Back Better)」をコンセプトとした「復興のストーリー」を展示

(①EXPOメッセ展示イメージ)



①「未来のコミュニティとモビリティウィーク」(令和7年5月19日(月)~24日(土))において「震災伝承・災害対応」、「食・水産」、「最新技術」や「F-REI」等をテーマに展示(EXPOメッセ)

※多くの方々に被災地まで足を運んでいただけるよう、被災地の高校生等がおすすめする地元スポットも発信

※経済産業省は復興庁展示に隣接し福島県の浜通り地域等への誘客を促す取組等を実施

(②モニュメントイメージ)

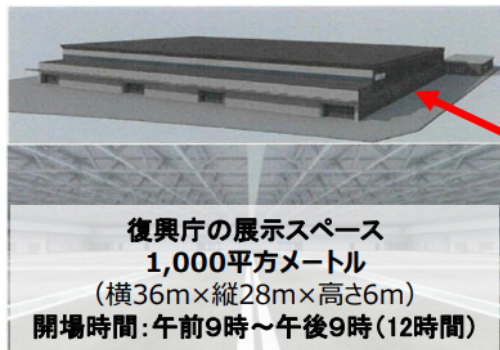
②万博期間中、被災地住民や来場者等の「3.11や復興に関する思い」のメッセージで成長するデジタルモニュメント「成長する『奇跡の一本松』」を設置(東ゲートゾーン)



・「未来社会の実験場」にふさわしく、万博会場外からの参加を可能とするため、WEB(PC、スマートフォン)や被災3県の伝承施設、兵庫県人と防災未来センターなどでもテーマウィーク展示コンテンツを紹介、メッセージ投稿を受け付け

○ テーマウィーク展示コンテンツやデジタルモニュメントは「遺産(レガシー)」としてデジタル保存

テーマウィーク展示会場 「EXPOメッセ」



復興庁の展示スペース

1,000平方メートル

(横36m×縦28m×高さ6m)

開場時間:午前9時~午後9時(12時間)

万博会場全体図



※大屋根リングの木材に浪江町請戸地区「ウッドコア」社の福島県産材を使用

デジタルモニュメント設置場所 「東ゲートゾーン」

